

令和7年度

**第 2 回
八雲町立図書館協議会
議 案**

**日 時 令和8年1月22日（木）
午後2時**

場 所 八雲町立図書館 2F 集会室

八雲町立図書館

令和7年度 第2回 八雲町立図書館協議会日程

【日時】 令和8年1月22日(木)
午後2時00分

【場所】 八雲町立図書館
2F 集会室

1. 開会

2. 挨拶 八雲町教育委員会教育長 西田 浩人

3. 委員自己紹介

4. 議題 ※別紙議題一覧参照

5. その他

6. 閉会

議題一覧

番号	件名	ページ
(1)	八雲町立図書館協議会委員の任命について	3
(2)	八雲町立図書館協議会 会長・副会長の選任について	4
(3)	令和7年度 八雲町立図書館・熊石総合支所図書室 利用状況について	5
(4)	令和7年度 八雲町立図書館 施設利用状況について	7
(5)	令和7年度 八雲町立図書館・熊石総合支所図書室 事業実施状況について	8
(6)	令和7年度 読書感想文・感想画コンクール 審査結果について	10
(7)	令和7年度 八雲町教育委員会事務事業(令和6年度実施分)評価について	11
(8)	令和8年度 読書感想文・感想画コンクール 審査委員の依頼について	15
その他	ライオンズクラブ図書購入費用寄贈について	
	『第3次八雲町子どもの読書活動推進計画』の策定について	

(1)八雲町立図書館協議会委員の任命について

■八雲町立図書館協議会委員名簿（令和7年10月1日 現在）

氏名	所属等	備考
よしだ けい 圭 吉田 圭	山越小学校長	
あしだ ともこ 子 芦田 朋子	童話サークルぴいたあぼん	
にし の せい こ 子 西野 聖子	子育てサークル チビスターズ	新任
やま なか ひさ え 江 山中 久江	学識経験者	
こ ばやし ゆき こ 子 小林 幸子	学識経験者	
ます だ ひさ お 雄 増田 寿雄	一般公募	新任

（任期：令和7年10月1日から令和9年9月30日まで）

(2)八雲町立図書館協議会 会長・副会長の選任について

八雲町立図書館協議会運営規則第2条第2項の規定に基づき、会長・副会長を選任する。

記

会長

副会長

(任期:令和9年9月30日まで)

(3) 令和7年度 八雲町立図書館・熊石総合図書室利用状況について (12月末対比)

①八雲町立図書館 (本館) ※団体貸出を除く

	開館 日数	利用者数			貸出冊数					来館者数
		一般	児童	計	一般書	児童書	雑誌	AV資料	計	
4月	26	792	110	902	2,377	1,450	138	34	3,999	2,463
5月	26	769	89	858	2,193	1,359	134	31	3,717	2,523
6月	25	721	97	818	2,106	1,335	123	16	3,580	2,487
7月	28	725	119	844	2,047	1,483	132	39	3,701	3,022
8月	28	732	108	840	2,028	1,423	116	31	3,598	3,174
9月	22	670	80	750	1,857	1,216	92	17	3,182	2,412
10月	27	721	100	821	2,038	1,377	128	22	3,565	2,667
11月	26	724	105	829	2,106	1,441	103	23	3,673	3,024
12月	24	705	98	803	2,449	1,455	142	35	4,081	2,269
合計	232	6,559	906	7,465	19,201	12,539	1,108	248	33,096	24,041
前年度	228	7,223	936	8,159	21,095	13,230	1,277	260	35,862	25,982
比較	4	△ 664	△ 30	△ 694	△ 1,894	△ 691	△ 169	△ 12	△ 2,766	△ 1,941

②移動図書館※団体貸出を除く

	一般	児童	計	一般書	児童書	計
4月	23	98	121	69	388	457
5月	27	119	146	77	341	418
6月	38	98	136	81	330	411
7月	33	107	140	95	373	468
8月	14	26	40	25	156	181
9月	22	74	96	53	207	260
10月	34	105	139	72	363	435
11月	35	90	125	73	341	414
12月	39	88	127	101	331	432
合計	265	805	1,070	646	2,830	3,476
前年度	283	753	1,036	609	3,083	3,692
比較	△ 18	52	34	37	△ 253	△ 216

③団体貸出※本館・移動図書館合計

	団体数	一般書	児童書	計
4月	26	207	572	779
5月	31	163	627	790
6月	40	306	885	1,191
7月	25	184	517	701
8月	31	188	662	850
9月	38	215	758	973
10月	31	185	619	804
11月	37	201	702	903
12月	28	266	634	900
合計	287	1,915	5,976	7,891
前年度	255	2,224	5,870	8,094
比較	32	△ 309	106	△ 203

④熊石総合支所図書室利用状況

	利用者数			貸出冊数		
	一般	児童	計	一般書	児童書	計
4月	8	0	8	13	0	13
5月	5	0	5	9	3	12
6月	6	0	6	11	0	11
7月	6	0	6	9	0	9
8月	9	2	11	20	4	24
9月	11	0	11	38	0	38
10月	4	0	4	21	0	21
11月	4	0	4	17	0	17
12月	6	0	6	31	0	31
合計	59	2	61	169	7	176
前年度	133	0	133	404	63	467
比較	△74	2	△72	△235	△56	△291

⑤相互貸借（他館との資料貸し借りの状況）

	貸出冊数（八雲⇒他館）				借受冊数（他館⇒八雲）			
	一般書	児童書	雑誌	計	一般書	児童書	雑誌	計
4月	8	10	0	18	28	4	0	32
5月	5	3	0	8	22	6	0	28
6月	7	5	0	12	11	0	0	11
7月	6	7	0	13	22	3	0	25
8月	4	5	0	9	23	5	0	28
9月	11	2	0	13	23	6	0	29
10月	5	5	0	10	14	5	0	19
11月	9	1	0	10	23	6	0	29
12月	9	0	0	9	19	3	0	22
合計	64	38	0	102	185	38	0	223
前年度	56	4	0	60	195	24	0	219
比較	8	34	0	42	△10	14	0	4

⑥Web公開 メールリクエスト・Web予約利用状況

	人数	冊数
4月	45	96
5月	46	96
6月	43	83
7月	46	95
8月	53	108
9月	37	67
10月	53	116
11月	47	92
12月	49	100
合計	419	853
前年度	452	892
比較	△33	△39

(4)令和7年度八雲町立図書館施設利用状況について

■令和7年度 八雲町立図書館 施設利用状況（12月末対比）

		集会室(2F)		視聴覚ホール(2F)		ホール展示
		件数	人数	件数	人数	件数
4月	R7	14	62	11	94	1
	R6	12	90	11	81	1
5月	R7	21	92	9	176	2
	R6	11	68	7	70	1
6月	R7	23	175	7	52	2
	R6	22	194	7	37	2
7月	R7	20	114	23	237	2
	R6	13	113	12	124	2
8月	R7	28	201	25	284	2
	R6	19	135	16	159	1
9月	R7	23	191	14	58	2
	R6	20	151	10	62	2
10月	R7	20	112	14	189	1
	R6	14	245	19	337	1
11月	R7	20	120	12	273	1
	R6	22	159	8	174	1
12月	R7	16	68	5	51	1
	R6	13	82	4	12	2
合計 (12月末対比)	R7	185	1,135	120	1,414	14
	R6	146	1,237	94	1,056	13
	R7-R6	39	△ 102	26	358	1

(5)令和7年度八雲町立図書館・熊石総合支所図書室 事業実施状況について

■令和7年度 八雲町立図書館 (12月末統計)

事業名	参加人数	事業内容
① おたのしみ えいが会	55人	毎月第2土曜日
② おたのしみ こうさく会	112人	毎月第2土曜日
③ おたのしみ どうわの日	131人	毎月第3土曜日
④ 映画上映会	134人	一般対象 毎月第4土曜日
⑤ おはなしひろば	107人	毎月2回 館内「おはなしのへや」での読み聞かせ
⑥ ブックスタート	44人	八雲地域 毎月9か月相談日(毎月1回) 熊石地域 乳幼児相談日(年1回)※今年度未実施
⑦ 出前読み聞かせ会	150人	町内学校対象 6件
⑧ 古本リサイクル市	—	4月15日(火)～5月11日(日) ※町民から事前に募集した古本のみで提供。
⑨ 臨時特別開館	—	祝日・休館日(月)での臨時開館 ※4月▶9月 計5日 / 10月▶3月 計3日間
⑩ 集会室(学習室)一般開放	234人	八中・八高の定期試験前を目途に一般開放(閲覧室満席状態の緩和策)
⑪ ロビーコンサート	145人	① 6月28日(第65回) みんなで歌おう歌声ひろばvol.9 30人 ② 11月23日(第66回) オーボエコンサート 75人 ③ 12月14日(第67回) クリスマス★コンサート 40人
⑫ 朗読会	62人	① 7月26日(土)(第24回) 39人 ※暑さ対策のため視聴覚ホール開催 ② 12月6日(土)(第25回) 23人 ※寒さ対策のため視聴覚ホール開催 ③ 3月7日(土)予定(第26回)
⑬ 第49回 文学史跡めぐり	21人	江差歴史文化体験ツアー (「開陽丸記念館」「江差追分会館」)
⑭ 読書感想文・感想画コンクール表彰式	60人	・11月27日(木)表彰式 ・「光陰59号」発行(197部) ・感想文 11点 / 感想画 4点 (合計 15点)
⑮ 図書館フェスティバル	288人	10/4～11/9の期間で下記イベントを開催。なお、この期間で開催される例月行事についても当該イベントの一つとして周知、開催に含めた。 第14回幻灯朗読会 55人 第1部 トーク「宮沢賢治に見えるもの」 (木版画家:佐藤国男氏、司会進行:土屋裕美氏) 第2部 幻灯朗読会「十力の金剛石／土神と狐」 (やくも朗読サークル) ※ほか、エントランスホールでの佐藤国男木版画展 10月4日(土) 10月5日(日) えいが会スペシャル『おかあさんといっしょ スペシャルステージ』 10人 10月11日(土) こうさく会スペシャル「じしゃくクック」(2部制) 講師:野呂祐人氏(函館短期大学保育学科専任講師) 計 35人 10月15日(水) 夜間映画会『シングル・イン・ソウル』 1人 10月18日(土) おたのしみ どうわの日(例月行事) 10人 10月25日(土) 映画会(例月行事)『九十歳。何がめでたい』 34人 10月26日(日) えいが会スペシャル『鬼滅の刃 無限列車編』 21人 10月29日(水) 夜間映画会『岸辺露伴は動かない』より『富豪村／くしゃがら』 9人 11月1日(土) ジャグリング&マジックショー パフォーマー:GHOST(ゴースト) 59人 11月8日(土) こうさく会(例月行事)『シャカシャカしおり』 13人 11月9日(日) 人形劇公演『こまめちゃん』 劇団:おたのしみ劇場「ガウチョス」 41人
イベント参加人数 計	1,543人	(12月末現在)

■令和7年度 熊石総合支所図書室

事業名	参加人数	事業内容
図書展示	—	時節のテーマに照らした図書を選択し展示コーナーを設置。(約2ヶ月毎に更新)

■令和7年度 雑誌オーナー制度

事業名	参加オーナー	事業内容
雑誌オーナー制度	7	8タイトル寄贈(図書館購入雑誌29タイトル) ・雑誌オーナーは図書館の購入する雑誌、または導入を希望する雑誌からオーナーになりたい雑誌を選び、1年間の購読料を指定の町内雑誌納入業者に納める。 ・図書館はオーナーの名を雑誌カバー表面に掲載し、裏面に広告を配置する。また、図書館だより、町ホームページ、館内ポスターやチラシなどにオーナー名を一覧にして掲載する。
事業者名・団体名		寄贈雑誌名
ファミリーサロン浩 様		小説 すばる
ヤクモ歯科クリニック 様		健康365
公文式 八雲駅前教室 様		レタスクラブ
(有) 後藤電気商会 様		ESSE / 暮らしの手帖 (2誌)
デザイン工房ねむの木 様		日経WOMAN
やくもtomoko studio 音楽教室 様		月間Piano
森田上八雲牧場 様		ジュニアエラ

(6)令和7年度 読書感想文・感想画コンクール審査結果について

■鶴田知也賞 2篇

部門・区分	作品名	学校名	学年	氏名
感想文部門	地球とのやくそく	八雲小学校	3年	岩田 陽南子
感想画部門	おこられるみかん	落部小学校	1年	澤田 菜々花

■最優秀賞 2篇

■感想文部門 2篇

部門・区分	作品名	学校名	学年	氏名
小学校低学年の部	(応募なし)	—	—	—
小学校中学年の部	【鶴田知也賞へ選出】	—	—	—
小学校高学年の部	『ぼくの色、見つけた!』を読んで	浜松小学校	6年	水野 綾美
中学校の部	(該当なし)	—	—	—
高校・一般の部	心に届く看護を目指して	八雲高等学校	1年	数馬 璃音

■感想画部門 0篇

部門・区分	作品名	学校名	学年	氏名
小学校低学年の部	【鶴田知也賞へ選出】	—	—	—
小学校中学年の部	(該当なし)	—	—	—
小学校高学年の部	(該当なし)	—	—	—

■優秀賞 11篇

■感想文部門 8篇

部門・区分	作品名	学校名	学年	氏名
小学校低学年の部	(応募なし)	—	—	—
小学校中学年の部	お母さんの取扱方	落部小学校	4年	那須 和真
	勇気の先にあるもの	野田生小学校	4年	林 晃弘
小学校高学年の部	ごめんねの大切さ	落部小学校	6年	瀬下 琉輝
	より平等に	八雲小学校	6年	中村 朱里
中学校の部	「平凡で長命な人生」と「幸福で短命な人生」	八雲中学校	2年	佐々木 未羽
	女子中学生のタイムスリップ	八雲中学校	2年	手代木 叶菜
高校・一般の部	看守の信念を読んで	八雲高等学校	1年	平澤 梨愛
	聞こえない声を聴く	八雲高等学校	2年	北村 円栴

■感想画部門 3篇

部門・区分	作品名	学校名	学年	氏名
小学校低学年の部	くわがたがゼリーをたべてる	落部小学校	2年	平田 力久
	かきをとろうとするかに	八雲小学校	2年	吉田 蒼生
小学校中学年の部	かさじぞうのおんがえしのじゅんび	八雲小学校	3年	都筑 桜翔
	(該当なし)	—	—	—
小学校高学年の部	(該当なし)	—	—	—

(7) 令和7年度 八雲町教育委員会事務事業(令和6年度実施分)評価について

令和6年度八雲町教育委員会事務事業・評価個別シート

令和 8 年 1 月 13 日 作成

担当課(部局)

図書館

係

奉仕係

施策の体系	章	4	ふるさとを築く教育の充実と文化・スポーツの振興	法的		法令		条例		その他
	分野	2	生涯学習の推進	根拠等						
	主要施策	3	図書館の充実	実施	○	直営		委託		その他
	施策	1	各種ボランティア団体との連携	方法						
評価事務事業名		エントランスホール事業								

事業概要	1階エントランスホールの有効活用として、作品展示のほかボランティア団体主催の鑑賞型催事を後援し来館した利用者に自由参加の場を設けるなど、身近なコミュニティエリアとして空間提供を行う。
------	---

事業の目的	(1)対象(誰を、何を対象としているのか)	(3)手段(どのような手法、手順で行っているのか)
	図書館利用者	個人または団体での作品展示(1テーマ約2週間)の希望を募るほか、やくも朗読サークル・八雲音楽協会等、団体活動を兼ねた朗読発表・ミニコンサートの会場としてロビーを提供し、併せて後援協力を行いながら継続的な有効活用を図る。
	(2)意図(対象をどのような状態にしたいのか)	
図書利用以外のコミュニティ空間を提供し、来館の機会を催しながらより身近な施設として有効活用を図る。		

1 必要性	(1) 町関与の根拠(町が行う必要がある事業か)		計	3	点
	○	①法令等教育推進を図る上で必要な事業。	1点	⑥管理・運営に関する事業。	1点
	○	②教育環境の整備及び町民の暮らしに役立つ事業で、当然の責務として町が行うべき事業。	1点	追加事由	1点
	○	③子どもから高齢者までを対象に生活する上で不可欠な事業。	1点	(説明) 関与の根拠に関し、内容を具体的に記入します。	
	○	④町の特性や魅力を生かした取組など、戦略的な事業。	1点	エントランスホールをさまざまな活動発表の場として提供することで、町有施設の有効活用を図ることができる。	
	○	⑤民間等による実施も可能であるが、教育委員会が先導・補完しながら行う事業。	1点		
	(2) 社会情勢や町民ニーズの変化等		計	1	点
	○	①国の制度の見直しや社会環境の変化によって、サービス内容の拡充が求められている。	1点	※法令等で実施内容や手法等が定められて、町の創意工夫が入る余地はない。(点数対象外)	
	○	②対象者、利用者が増加するなど、町民ニーズが高まっている。	1点	(説明) 妥当性に関し、内容を具体的に記入します。	
	○	③事業のマンネリ化を避けるため、事業の見直しを図ることによって、成果が上がってきている。	1点	図書館に足を運ぶ機会を設け、より身近な施設として町民利用の間口を広げ、併せて図書利用に向けた来館促進に繋げる働き掛けとして妥当と考える。	
○	④限られた予算の中であっても、事業実施の優先性・必要性は高い。	1点			
	追加事由	1点			

2 有効性	(1) 成果・協働に対する事業の有効性		計	4	点	
	○	①事業を達成するうえで、当該事業の貢献度は高い。	1点	○	⑤自主的な生涯学習活動の推進が図られる。	1点
	○	②事業の継続により、成果目標の向上が期待できる。	1点	(説明) 有効性に関し、内容を具体的に記入します。		
	○	③他に類似、重複した事業はない。	1点	団体等と連携し、発表機会を提供することにより、施設の有効活用と来館の働きかけにつながるため、継続する必要性は高い。		
	○	④町民参加の意識高揚が図られている。	1点			

3 達成度	(1) 達成度の測定		計	2	点			
	区分	指標(算式)	単位	R4実績	R5実績	R6実績	R6当初計画	
	活動指標 ※具体的な活動の内容	指標① (算式)	作品展示	回	21	23	19	20
		指標② (算式)	コンサート・朗読会等	回	3	6	6	6
	成果指標 ※どれだけの成果が現れたか	指標① (算式)	作品展示鑑賞者 閲覧室利用者数別カウント (100人未満⇒5人/日)(100人以上⇒10人/日)	人	1,522	2,093	2,087	2,000
		指標② (算式)	コンサート・朗読会等参加者	人	85	275	231	250
	○	①活動の効果を明確かつ具体的に示すことができる。		1点	(説明) 成果・効果や達成度に関し、内容を具体的に記入します。			
	○	②意図した成果が得られている。(達成度概ね80%以上)		1点	回数・参加数に年ごとの増減はあるものの、ある程度保持されており継続した利用が期待できる。			
	○	③あまり成果が出ていない。(概ね60%未満)		-1点				

4 効率性	(1)事業費の推移		計		0	点				
	区分	単位	R4決算額	R5決算額	R6決算額	R6事業費の内訳及び金額 (金額の上位2費用他)	単位コスト	○	一般財源額	
	事業費	千円	0	0	0		低下している		1点	
	国・道費	千円				区分(節)	金額(千円)	○	変わらない	0点
	地方債	千円							上昇している	-1点
	その他	千円						説明	場所の提供、開催協力が基本になるため費用は発生しない。	
一般財源	千円	0	0	0						

(2)手法の効率化		計		2	点
<input type="radio"/>	①現在の手法は、コスト削減にも寄与している。	1点	<input type="radio"/>	④法令等で実施内容や手法等が定められる。	1点
<input type="radio"/>	②執行方法の工夫により、事業費を変えずに対象範囲を拡大する等、効率化の余地はない。	1点	(説明) 手法の効率化に関し、内容を具体的に記入します。		
<input type="radio"/>	③外部委託や執行方法の工夫により、対象範囲を変えずに事業費を削減する余地はない。	1点	利用する個人や団体による企画運営等もあり、費用をかけずに実施している。		

項目別点数による評価

項目別点数による評価結果

A

↓

項目	点数
1 必要性	4
2 有効性	4
3 達成度	2
4 効率性	2
8	
4	

→

		必要性+有効性										
		低	0	1	2	3	4	5	6	7	8~	高
	6											
	5											
	4										○	
	3											
	2											
	1											
	0											
	-1											
	-2											

担当課評価

A

※上記の結果を参考に、事業担当課として、町民ニーズ、他施策との関係等を含め総合的視点から評価します。
※評価は、次のA~Dによります。

- A 現状にて事業を継続または拡充（必要性・有効性及び達成度・効率性はいずれも高い）**
- 現状のままで事業を継続 事業を拡充して継続
- B 事業の進め方の改善により継続（必要性・有効性は高いが、達成度・効率性は低い）**
- | | |
|---------------------|----------------------|
| 事業の簡素化、効率化による改善 | 執行体制の見直し(外部委託等)による改善 |
| 事業手法の見直しによる改善 | 住民参加等の推進による改善 |
| 事業内容や契約方法等の見直しによる改善 | その他効果的・効率的手法の検討による改善 |
- C 事業規模・内容等の見直しの検討（達成度・効率性は高いが、必要性・有効性は低い）**
- | | |
|--------------------------|--------------------------|
| 制度・事業内容の全面的な見直しを検討 | 対象範囲の見直し、受益者負担の見直し・導入を検討 |
| 必要性等を再検証し事業規模、計画等の見直しを検討 | 他の事業、類似事業への統合・転換を検討 |
| 計画期間の延伸、事業費平準化等を検討 | その他 |
- D 事業の抜本的見直しを検討（必要性・有効性及び達成度・効率性はいずれも低い）**
- | | | | | |
|-----------------------|----|----|-------|--------------|
| 廃止 | 統合 | 縮小 | 凍結 | 新たな事業への転換 |
| ※事業廃止の可能性や廃止することによる影響 | | ⇒ | 廃止可能 | 条件が整えば廃止検討可能 |
| | | | 廃止は困難 | その他 |

説明

一次評価（担当課評価）の内容や考え方を具体的に記入します。 展示作品提供者・ボランティア団体等ホールを活用する側にとっても、来館する利用者側にとっても、意義のある空間となるよう事業の継続に努めたい。	今後の改善策等を具体的に記入します。 希望者の日程が合わず、数日~1週間程度の空き期間ができる事がするため、なるべく空き期間が少なくなるよう日程調整を行っていく。また、どうしても空き期間が発生する場合には自館や役場等での利用なども含め、積極的な活用を行えるように企画していきたい。
--	---

A~現状のまま事業を継続または拡充 B~事業の進め方の改善により継続 C~事業規模・内容等の見直しの検討 D~抜本的見直しを検討

外部評価委員会の点検・評価

☆コメント

令和6年度八雲町教育委員会事務事業・評価個別シート

令和 8 年 1 月 13 日 作成			担当課 (部局)	図書館		係	奉仕係	
施策の体系	章	4	ふるさとを築く教育の充実と文化・スポーツの振興	法的		法令	条例	その他
	分野	2	生涯学習の推進	根拠等				
	主要施策	3	図書館の充実	実施	<input type="radio"/>	直営	委託	その他
	施策	4	子どもの読書活動の推進	方法				
評価事務事業名			『赤ちゃんと楽しむ～ハッピー絵本セット』利用推進事業					

事業概要	乳幼児をもつ保護者から資料の汚破損が心配で図書館を利用しづらいという声があり、安心して利用してもらうための対策として、汚破損を気にせずに利用してもらえる絵本セットを作成し貸出を行う。								
事業の目的	(1)対象 (誰を、何を対象としているのか)			(3)手段 (どのような手法、手順で行っているのか)					
	乳幼児とその保護者			絵本5冊を1セットとして希望者に貸出。利用期間も通常よりも長い1ヵ月とし、ゆっくり本に触れ合ってもらおう。利用中に汚破損が発生しても弁償請求は行わず、可能な限り修理して利用する。また、修理が不可能な場合は別の資料と入れ替えるなどして対応する。					
事業の目的	(2)意図 (対象をどのような状態にしたいのか)			親子で本に親しんでもらうことで、子どもと保護者の読書活動の推進につなげるとともに、図書館の利用促進を図る。					
	親子で本に親しんでもらうことで、子どもと保護者の読書活動の推進につなげるとともに、図書館の利用促進を図る。								
1 必要性	(1)町関与の根拠(町が行う必要がある事業か) 計 4 点								
	<input type="checkbox"/>	①法令等教育推進を図る上で必要な事業。	1点	<input type="checkbox"/>	⑥管理・運営に関する事業。	1点			
	<input type="checkbox"/>	②教育環境の整備及び町民の暮らしに役立つ事業で、当然の責務として町が行うべき事業。	1点	<input type="checkbox"/>	追加事由 読書教育環境の整備	1点			
	<input type="checkbox"/>	③子どもから高齢者までを対象に生活する上で不可欠な事業。	1点	(説明) 関与の根拠に関し、内容を具体的に記入します。					
	<input type="checkbox"/>	④町の特性や魅力を生かした取組など、戦略的な事業。	1点	乳幼児と保護者の読書への関心を高めるきっかけづくりとして必要である。					
	<input type="checkbox"/>	⑤民間等による実施も可能であるが、教育委員会が先導・補完しながら行う事業。	1点						
	(2)社会情勢や町民ニーズの変化等 計 3 点								
	<input type="checkbox"/>	①国の制度の見直しや社会環境の変化によって、サービス内容の拡充が求められている。	1点	<input type="checkbox"/>	※法令等で実施内容や手法等が定められて、町の創意工夫が入る余地はない。(点数対象外)	-			
	<input type="checkbox"/>	②対象者、利用者が増加するなど、町民ニーズが高まっている。	1点	(説明) 妥当性に関し、内容を具体的に記入します。					
	<input type="checkbox"/>	③事業のマンネリ化を避けるため、事業の見直しを図ることによって、成果が上がってきている。	1点	ブックスタートやほっとママの会などの子育て関連事業の際にセットの紹介をすると、関心を示してくれる保護者の方は多く、その後すぐに利用しに来館してくれる方もいる。					
<input type="checkbox"/>	④限られた予算の中であっても、事業実施の優先性・必要性は高い。	1点							
<input type="checkbox"/>	追加事由	1点							
2 有効性	(1)成果・協働に対する事業の有効性 計 4 点								
	<input type="checkbox"/>	①事業を達成するうえで、当該事業の貢献度は高い。	1点	<input type="checkbox"/>	⑤自主的な生涯学習活動の推進が図られる。	1点			
	<input type="checkbox"/>	②事業の継続により、成果目標の向上が期待できる。	1点	(説明) 有効性に関し、内容を具体的に記入します。					
	<input type="checkbox"/>	③他に類似、重複した事業はない。	1点	乳幼児期からの読書体験のきっかけづくりを行うとともに、保護者にも読書活動の有用性を広く周知することによって、図書館の利用を促進することができる。					
<input type="checkbox"/>	④町民参加の意識高揚が図られている。	1点							
3 達成度	(1)達成度の測定 計 1 点								
	区分	指標 (算式)		単位	R4実績	R5実績	R6実績	R6当初計画	
	活動指標 ※具体的な活動の内容	指標①	セット数	セット	6	6	6	6	
		指標②							
	成果指標 ※どれだけの成果が現れたか	指標①	利用回数	回	33	13	12	20	
		指標②	利用者数 (実数)	人	14	5	9	10	
	<input type="checkbox"/>	①活動の効果を明確かつ具体的に示すことができる。			1点	(説明) 成果・効果や達成度に関し、内容を具体的に記入します。			
	<input type="checkbox"/>	②意図した成果が得られている。(達成度概ね80%以上)			1点	出生数の減少等により利用対象者が減少していることもあり、利用回数は減少している。一定のニーズはあるものの、リピーターを獲得できていない状況である。			
	<input type="checkbox"/>	③あまり成果が出ていない。(概ね60%未満)			-1点				

4 効率性	(1)事業費の推移		計			0	点
	区分	単位	R4決算額	R5決算額	R6決算額	R6事業費の内訳及び金額 (金額の上位2費用他)	
	事業費	千円	0	0	0	単位コスト	○ 一般財源額
	国・道費	千円				低下している	1点
	地方債	千円				変わらない	0点
その他	千円				上昇している	-1点	
一般財源	千円	0	0	0	説明 図書貸出により対応しているため、当該事業に対する費用負担は無い。		

(2)手法の効率化		計			2	点
○	①現在の手法は、コスト削減にも寄与している。	1点	④法令等で実施内容や手法等が定められる。	1点		
○	②執行方法の工夫により、事業費を変えずに対象範囲を拡大する等、効率化の余地はない。	1点	(説明) 手法の効率化に関し、内容を具体的に記入します。			
○	③外部委託や執行方法の工夫により、対象範囲を変えずに事業費を削減する余地はない。	1点	汚破損が発生した場合には、職員が可能な限り修理を行っている。			

項目別点数による評価	項目別点数による評価結果	項目別点数表		低 必要性+有効性 高										高 達成度+効率性 低		
	A	項目	点数	0	1	2	3	4	5	6	7	8	~			
		1	必要性	7	○										6	
		2	有効性	4	△										5	
		3	達成度	1											4	
		4	効率性	2	○										3	
				3		□										2
				3		□										1
				3		□										0
				3		□										-1
				3		□										-2

担当課評価	A	※上記の結果を参考に、事業担当課として、町民ニーズ、他施策との関係等を含め総合的視点から評価します。 ※評価は、次のA～Dによります。
-------	----------	--

- A 現状にて事業を継続または拡充 (必要性・有効性及び達成度・効率性はいずれも高い)**
- 現状のまま事業を継続 ○ 事業を拡充して継続
- B 事業の進め方の改善により継続 (必要性・有効性は高いが、達成度・効率性は低い)**
- | | |
|---------------------|----------------------|
| 事業の簡素化、効率化による改善 | 執行体制の見直し(外部委託等)による改善 |
| 事業手法の見直しによる改善 | 住民参加等の推進による改善 |
| 事業内容や契約方法等の見直しによる改善 | その他効果的・効率的手法の検討による改善 |
- C 事業規模・内容等の見直しの検討 (達成度・効率性は高いが、必要性・有効性は低い)**
- | | |
|--------------------------|--------------------------|
| 制度・事業内容の全面的な見直しを検討 | 対象範囲の見直し、受益者負担の見直し・導入を検討 |
| 必要性等を再検証し事業規模、計画等の見直しを検討 | 他の事業、類似事業への統合・転換を検討 |
| 計画期間の延伸、事業費平準化等を検討 | その他 |
- D 事業の抜本的見直しを検討 (必要性・有効性及び達成度・効率性はいずれも低い)**
- | | | | | | |
|-----------------------|----|------|--------------|-----------|-----|
| 廃止 | 統合 | 縮小 | 凍結 | 新たな事業への転換 | |
| ※事業廃止の可能性や廃止することによる影響 | ⇒ | 廃止可能 | 条件が整えば廃止検討可能 | 廃止は困難 | その他 |

説明	一次評価(担当課評価)の内容や考え方を具体的に記入します。	今後の改善策等を具体的に記入します。
	町の子育て関係事業の際にセットを紹介すると関心を寄せてくれる保護者の方は多く、乳幼児の保護者にとって図書館の利用が思った以上に敷居の高いものであるということがうかがえる。誰でも利用しやすい図書館となるよう、事業内容の見直しや新サービスの実施等についても積極的に行っていく。	平成31年度にセット内容の見直しを実施し、セット数も増やしたが、今後は乳幼児(0～2歳程度)向けセットだけではなく幼児(3～5歳程度)向けセットも作成するなど、より幅広い層に利用してもらえるような取組についても検討していく。

A～現状のまま事業を継続または拡充 B～事業の進め方の改善により継続 C～事業規模・内容等の見直しの検討 D～抜本的見直しを検討

二次評価	外部評価委員会の点検・評価	☆コメント
	A	

(8)令和8年度 読書感想文・感想画コンクール 審査委員の依頼について

令和元年度「読書感想文・感想画コンクール」からの審査委員構成(町内各学校教諭6名、一般町民6名)に伴い、引き続き図書館協議会委員より2名の協力を依頼するもの。

記

委員

委員

(委嘱期間:第1回審査委員会から令和8年11月30日まで)

※参考:令和7年度(委嘱期間:令和7年6月25日から令和7年11月30日まで)

令和8年1月22日